

# プリックテスト

一部の赤ちゃんでは食物アレルギーによりしんが悪化しますが、最近、食物アレルギーの診断・治療に関して詳細なガイドラインが出ました。その中で注目されるのは、プリックテスト(ヒフでのアレルギー検査)についての評価です。この検査は、卵・牛乳・小麦などの食べ物の抽出液をヒフに乗せてから、そこを軽く傷つかない程度につつくことで、皮フの中に少し入れて、赤みが出るかどうかを見るものです。ガイドラインは、「採血によるアレルギー検査と同様に感度が高く、また、採血検査でわからないときでも、プリックテストが陽性になることがある」、と高い評価を与えています。痛みが無く、体の中に入るアレルギー物質の量はわずかですので、外来で行っても安全性が高い検査です。

## 【項目】

ハウスダスト

卵白

牛乳

小麦粉

カニ

エビ

そば

カンジダ

エダマメ(大豆)

イカ

落花生

イヌ

ゴマ

サバ

アルテルナリア

アスペルギルス